



コミュニティ・スクール 太宰府市立太宰府西中学校 学校だより

樟 蔭

令和6年2月5日(月) No.14 文責 校長 島田 二郎



2月になりました

今日は2月5日です。毎月1日に学校だより「樟蔭」を発行するようになってきましたが、2月1日は休校のため、2月号は、本日発行となりました。先週は、まれにみるインフルエンザ感染拡大のため、多くの生徒が罹患しました。中には高熱にうなされ、きつい思いをした生徒もいました。感染症防止の大切さを身に染みて感じます。ようやく今日から、学校再開となり、子ども達の声や笑顔が学校に戻ってきました。今年度も残り少なくなってきましたので、これまで同様、学校生活では校内にいつも笑顔が溢れているようにしたいと思います。

さて、2月は和風月名で「如月(きさらぎ)」と言われていました。如月の由来は諸説あるようです。「衣更着(きさらぎ)=厳しい寒さに備え重ね着をする季節(衣を更に重ねる)」という説や、陽気が更に来る月だから「気更来(きさらぎ)」になった説、春に向けて草木が生えはじめるから「生更木(きさらぎ)」になった説があるそうです。いずれにしろ、まだしばらく寒さが続きますので、体調管理には、いっそうの注意が必要な時期です。



2月をどう過ごすか?

2月になり、今年度の終わりが少しずつ見えてきました。1,2年生は残り7週間、3年生は残り5週間となります。3年生は半数以上の生徒の進路先が確定しました。残す入試は、国立工業高等専門学校、公立推薦、公立一般入試となります。入試が残っている生徒は、最後の最後まで気持ちを引き締めて学力向上に努めてほしいと思います。入試が終わった生徒は気を抜くことなく、最後の中学校生活を充実させてほしいと思います。1,2年生は、まずは学力診断テスト、期末考査とテストが続きますので、テストで自分の目標点数をクリアできるよう、勉強に励みましょう。大きな行事としては、3月14日に生徒総会があります。それに向けて、学級審議や執行部の紙面回答による審議等があります。これらの話し合いをとおして、自分たちで考え、自分たちで決め、自分たちで学校を良くしていこうとする『自治活動』に励んでほしいと思います。また、今のクラスで過ごす時間もわずかとなりました。学級の仲間と協力し合い、楽しい思い出をつくり、修了式を迎えることができるとよいです。

これからの2か月で勉強や仲間づくり、行事にどのように取り組むのか等が、来年度につながります。2月を充実させることができれば、3月も充実したものとなり、来年度をよい状態で迎えることができます。まずは、目の前の1つずつを丁寧に取り組み、2月を充実させましょう。

給食が始まり、1ヶ月が経ちました

1月10日から始まった太宰府市完全給食も1ヶ月が経ちました。皆で美味しくいただくことができ、食の大切さを実感しています。一方、気になるのは、残食が多いことです。配膳が終わった後、苦手なものを返しに來たり、



【給食記念日の献立です】

食べきらずに戻したりすることがあります。給食になり、健全な食生活や栄養バランス、食の大切さ等、食に関する様々なことを学び、実感することができてきました。その反面、食品ロスの問題が起きています。これから太宰府西中学校ではこれらのことをしっかりと考えていきたいと思っています。